

## 県内の2025年度N I E実践指定校（敬称略）

学校名	校長 (児童・生徒数)	担当教諭 代表者	テーマ
菊陽北小 (菊陽町)	島田美彦 (598人)	杉谷 優太 黒田 雄一郎	本校では、いかに読解力と学習への意欲を向上させるかが課題となっている。そこで、新聞を活用して読解力の向上を図りたい。身近な話題から課題を見つけることで学習への意欲を高めるとともに情報活用能力の育成にも努めたい。
芳野中 (熊本市)	武藤 敦子 (43人)	本田 美香	生徒が新聞を通して世の中に関心を持ち、自分の見方・考え方を豊かにするために、今年度は全学年で新聞を読む時間を確保し、生徒自身が自分で記事を選び、感想や意見をまとめ、交流する活動に取り組む。そのために、全職員が役割分担する組織作りを行い、昨年度から引き続き、各教科・委員会活動などの実践にも取り組みたい。
向山小 (熊本市)	梅田 博子 (516人)	迫 洋輔	新聞を活用して言葉の力を伸ばしたり、実社会の実例を生かした教育実践を工夫したりして、教育活動の充実を目指す。 さまざまな教科、教育活動における新聞を活用した教育実践の可能性も探る。
泗水小 (菊池市)	河野 圭一 (529人)	村上 紀子	N I E活動を通じ、児童自ら実社会や実生活の中から「問い」を見出して情報を収集し、多角的な思考を通して表現力を育む。そうすることで「自ら考えなかと高め合う」という学校教育目標の達成につながると考えている。また、N I E活動を含め、地域に本校の教育活動を発信し、これまで以上に地域の教育力を活かした活動ができるものと期待している。
菊陽南小 (菊陽町)	森田富士夫 (105人)	庭月野 竜王	本校では、資料等の文章を読むことに時間を要したり、必要な情報を取り出せなかったりと、思考力・判断力・表現力等に課題がある。 そこで、今回、N I E実践に学校全体で取り組み、新聞を活用して読解力や表現力を高めていきたい。また、この取り組みによって、児童に社会や世界の情勢を少しでも知ってもらい、思いをはせる心も育てていきたい。
球磨中央高 (錦町)	赤峯 達雄 (309人)	森 悠紀	これまで、公民の授業で、世の中の事象に興味・関心を抱かせるために、全学科で授業の冒頭に、生徒が新聞記事の一つを選び発表する取り組みを行ってきた。 指定校として取り組みたいテーマは二つ。一つは授業中において情報活用能力を育てること。地歴公民・商業を中心に全授業の中で新聞活用を通して、情報活用能力の育成に取り組みたい。 もう一つは、全職員で社会人基礎力の育成に取り組む。進路指導やホームルーム活動でも、新聞を通して主体的に社会に参画する態度を育成したい。
五木中 (五木村)	志牟田 靖 (8人)	荒木 淳翔	これまで本校が行ってきた主権者教育や焼畑体験等の各体験活動のまとめとして、一人一人が新聞づくりを行った。その際、新聞記者による出前授業をしていただいたことで、生徒の意欲の向上につながった。 引き続き、生徒が新聞の読み方を知り、その読み取った内容等について話し合い活動を行うことにより、読解力や表現力を高めたい。